



2022年7月5日

各位

会社名 株式会社インターファクトリー
代表者名 代表取締役社長兼CEO 蕪木 登
(コード番号 4057 東証グロース)
問合せ先 取締役兼CFO 赤荻 隆
(TEL 03-5211-0086)

2022年5月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2022年7月5日開催の取締役会において、以下のとおり、2021年7月14日に公表しました通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (2021年6月1日～2022年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,577	百万円 159	百万円 157	百万円 108	円 27.31
今回修正予想 (B)	2,283	36	34	20	5.02
増減額 (B - A)	▲294	▲123	▲123	▲88	—
増減率 (%)	▲11.4	▲77.1	▲78.2	▲81.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	2,170	208	193	131	34.64

※ 2022年5月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、(ご参考)前期実績については当該基準適用前の実績値を記載しております。

2. 修正の理由

①売上高

システム運用保守売上は顧客規模の拡大に伴うPVおよびGMVの増加により当初計画を47百万円上回る1,355百万円となりました。一方で、システム受託開発売上は、新型コロナウイルス感染症の影響による特需が一段落し新規の問合せが計画を下回ったこと、また、新規受注案件

の大型化に伴いリードタイムが長期化したこと等により、受注金額、開発部門の稼働時間が想定以下で推移し、結果として当初計画を 326 百万円下回る 871 百万円となりました。

②営業利益、経常利益、当期純利益

2022 年 5 月期は、現行のクラウドシステムからより汎用性の高いクラウドシステムへの移行作業を行いました。当該作業に係る工数が当初計画を大幅に上回り、費用も大幅に増加（当初予想比 52 百万円増）いたしました。

また、当社は固定費中心型のコスト構造となっており、①に記載のとおりシステム受託開発売上が当初計画を大幅に下回ったことにより原価率が上昇し、利益を圧迫する結果となりました。以上により、営業利益を 36 百万円（前年同期比 82.6%減、前回予想比 77.1%減）、経常利益を 34 百万円（前年同期比 82.4%減、前回予想比 78.2%減）、経常利益を 20 百万円（前年同期比 84.7%減、前回予想比 81.5%減）に修正いたしました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上